

最新の患者様にやさしい 1.5テスラMRI装置を導入しています



東芝メディカルシステムズ製 磁気共鳴画像診断装置

導入装置の特徴

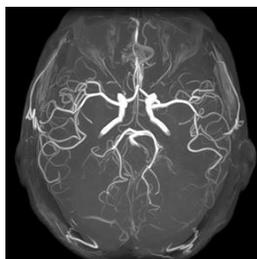
- ・全身各部位で高画質、短時間で検査できます。
- ・撮像騒音を抑えた静かな1.5テスラMRI装置です。
- ・短軸マグネットにより開放的な検査空間を提供します。
- ・造影剤を使わずに全身の血管を描出できます。

画像例



頭部検査

脳組織を良好なコントラストで観察できます。



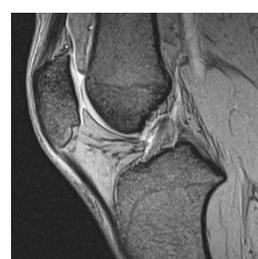
頭部血管検査

造影剤なしで頭部の血管が明瞭に描出できます。



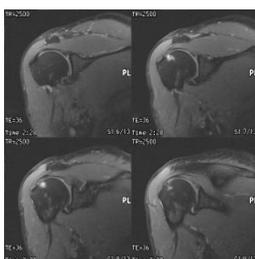
脊椎検査

脊椎、椎間板まで明瞭に観察できます。



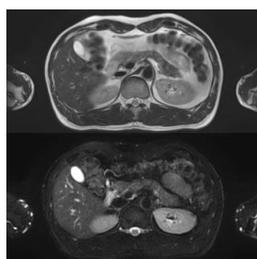
膝関節検査

膝関節の靭帯も明瞭に観察できます。



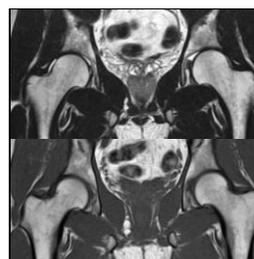
肩関節検査

レントゲン検査でわからない詳細な情報が得られます。



腹部検査

腹部病変の観察も容易に行えます。



股関節検査

股関節の病変も明瞭に観察できます。



下肢血管検査

造影剤なしで動脈・静脈を分離して描出できます。

(MRI検査のQ&A)

Q1: MRIはどんな装置ですか？

A: MRIは、磁場と電波を使って体の様々な断面像を撮像する装置です。レントゲンやCT装置と違い、放射線を使いませんので被爆がないのが特徴です。

Q2: MRI検査ではどんな疾患が発見できるのですか？

A: 頭部や脊髄・脊椎、関節等動きの少ない部位が得意ですが、最近では胸腹部、消化器、血管など全身部位で広く有用性を発揮しています。詳しい検査内容は、医師にお気軽にお尋ねください。

Q3: MRI検査の禁忌はありますか？

A: 非常に強力な磁場を発生しておりますので、金属類を持ち込みは禁止です。また、ペースメーカー使用者は、磁場の影響で故障する危険性がありますので、MRI室には絶対に入ってはけません。体内金属がある場合など、詳しくは医師の指示に従ってください。

Q4: 検査時間はどの位ですか？

A: 検査部位や撮影の種類にもよりますが、数年前では1時間以上かかっていたような検査内容も、当院に導入した最新装置では20～30分程度で終了します。

Q5: 検査時に大きな音がするのはなぜですか？

A: MRIでは画像を得るために、磁場を微妙に変化させる必要があります。この際装置そのものから大きな音が発生してしまいます。最新の高性能の装置では電車の通るガード下や、場合によっては飛行機離着陸直下に相当するほどの大きな音がすることが問題になっています。当院に導入する装置は、音を静かにする画期的なシステムを搭載しており、1/10程度まで騒音の軽減されております。従って、リラックスして検査が受けられます。



Q6: 造影剤は使用しますか？

A: 検査の目的(主に腫瘍の診断や血流動態を観察する場合)によって使用することがあります。従来のMRIは血管の形態を観察する場合にも造影剤を使用しましたが、当院のMRIでは造影剤を使用せず描出できる最新装置ですので、造影剤禁忌の患者さんも全身の血管診断が可能です。